

アカテガニ

名前の通り赤い手（ハサミ）のカニです。

甲羅（こうら）の幅は3 cm程度まで成長し、体は灰褐色で、甲羅の中央にへこみがあり微笑んでいるように見えます。

主に河川の河口や下流域の川原や土手に生息しています。クロベンケイガニよりも、標高の高い場所まで進出します。

昼間は穴の中で過ごし、夜によく活動します。雑食性で、植物、小動物、動物の死体などを食べます。

繁殖期の夏になると、交尾したメスが海岸に集まり、大潮の満潮時に卵を放ちます。孵化（ふか）した幼生は、1ヶ月程度海中で浮遊生活を送り、変態後に河川を遡上（そじょう）します。

富士市での現状

これまでの調査では確認していません。

沼川下流域の土手周辺に生息していると考えられます。



アカテガニを確認したメッシュ

